



根之木 正明

NENOKI Masaaki

1959年 佐賀県 唐津生まれ。

1986年、東京藝術大学大学院修士課程修了。

在学中は東京国立博物館と上野動物園に通い詰める。動物の肖像画をまじめに描いた連作、「動物園に行こう」で卒業制作デザイン賞受賞。

学部在学中に作家活動を開始。日本グラフィック展入賞、日本イラストレーション展大賞受賞をきっかけに多くの企画展に参加する。同時にイラストレーターとしても仕事を始める。

大学院修了後は(株)電通にてアートディレクター、作家活動を継続。1994年より京都造形芸術大学教員。

これまで一貫して絵画とその物質性について研究、制作してきた。その美しさに引かれ鉱物を観察し、収集するようになったことをきっかけに、近年は結晶構造からイメージを抽出した「Stone」シリーズと題した作品群を制作し続けている。

主な受賞 「日本グラフィック展」入賞、「日本イラストレーション展」大賞、「毎日広告デザイン賞」優秀賞等。主な企画展「グラマラス展」伊勢丹美術館(東京)、「アピアランス展」つくば美術館(茨城)、「東京藝術大学創立100周年記念展」東京藝術大学他(東京)、「アクリラート展」目黒区美術館(東京)、「デザインの風展」東京藝術大学美術館(東京)等

主な個展「種子」「酸素」「Eyes & Bones」ギャラリー池田美術(東京)、「Stones」ギャラリーなかむら(京都)、「Stones」ギャラリーしえる(水戸)等。

